

甲斐市教育委員会第2回定例会議事録

- 1 日 時 平成30年5月28日(月)午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館2階 教育委員会会議室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】生山勝教育長
【委員】新海宏子職務代理者 柳本博美委員
中込正久委員 長田明美委員
【説明員】三澤宏教育部長 加藤文雄教育総務課長
内藤和彦学校教育課長 土屋達巳生涯学習文化課長
梅原剛スポーツ振興課長 保坂和也図書館長
小山田拓也学校教育指導監
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 名取藤吾教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 平成30年度 第1回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 平成30年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について
第2号 平成30年度双葉西小学校運営協議会委員の委嘱について
- 10 その他
(1) 平成29年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について
(2) 平成30年度学校基本調査集計表について
(3) 平成29年度市内中学校3年生進路状況報告
(4) ≪ラジオ体操のまち甲斐市≫推進計画における平成29年度成果指標実績値の報告について
(5) 甲斐市チャレンジデー2018「ワールドチャレンジデー」について
(6) 6月の行事予定について
- 11 閉 会 午後3時00分

○開 会

事務局 開会を宣する。

○あいさつ

委員

あらためまして、こんにちは。私は25日に教育長と一緒に静岡県藤枝市で行われた関東甲信越静岡市町村教育委員会の連合会へ行ってきました。文部科学省から学校における働き方改革という膨大な資料が示され改めてデータを確認しましたが、改善できること工夫できることなどを感じられる良い資料でした。また、バルセロナで金メダルを取った水泳の岩崎恭子さんの講演があり、1時間ほどでしたがあっという間でとても楽しいお話を聞くことができました。

当日頂いた資料の中に藤枝市で発行している藤枝教育マイレージという文書があり、創甲斐教育を推し進めている甲斐市としても参考になると思い目を通しました。これは子供達のお手本になろうというキャッチフレーズの資料で、18歳以上の大人を対象とした生涯教育の意識の高揚を支援するための取り組みとのことでした。具体的にどのような取り組みかという、藤枝教育マイレージには4つのジャンルがあり、勉強・マナー・運動・地産地消の項目の中から自分で目標を立てるというもので、例えば今日は読書を30分しよう、ウォーキングをしよう、皆に挨拶をしよう、笑顔で過ごそうなど具体的なものから抽象的なものまでさまざまあります。二週間単位で実践し、市で発行しているチャレンジシートに、丸をつけていくそうです。1つの丸で2ポイントになり、100ポイント貯めると商店街で使えるマイレージカードと交換することができます。さらに、ボーナスポイントというものもあり、たとえば図書館を利用したり、市のスポーツ施設を利用したり、地域の行事などに参加するなどで1回ごとに10ポイントもらえるそうです。では、いったい何歳くらいの方が参加しているのか聞いてみたところ、50歳以上の方がほとんどだそうです。まだ若年層には広がりはないですがこれから広めていきたいとのことでした。私はこれをユニークな取り組みだと感じます。甲斐市の創甲斐教育ももうすぐ10年目になり、地に根ざし芽が出て花が咲きかけているところなので他の市町村の良い所は真似してみたいと思いました。

少し話が古くなってしまうのですが、4月に敷島南小学校の入学式へ参加しました。子供たちが校歌を歌っている時に新入生の中で先生と一緒に指揮をしている子がいて、これは創甲斐教育の現れなのではと感じました。少しずつ確実に創甲斐教育が芽吹いているなど入学式に参加したことで実感いたしました。

以上です。今日の定例会もよろしく申し上げます。

○教育長報告

教育長

それでは、5月の諸報告をさせていただきます。

3日の午後には、甲斐市ヴァンフォーレ甲府サンクスデーがあり、市長とやはたいぬ君から桑の葉茶のペットボトルと黒富士農場のバウムクーヘンを両チームにプレゼントしました。甲府は新しく上野監督となった初の試合であり、上野監督は昨シーズンまで対戦相手のレノファ山口の監督を務めており両チーム気合いの入った試合でありました。1対0で甲府がリードしていましたが終了間際に山口が同点ゴールを決め、1対1の同点となりました。この試合後、一昨日の土曜日には首位の岐阜チームに勝ち4連勝と調子が上がって来ました。

5日の午前には、市民親善グラウンドゴルフ大会が開催され、県大会出場の代表選手を決める予選会も兼ねていたことから多くの愛好者が参加しており、改めてグラウンドゴルフは人気のスポーツだと思いました。

午後には、敷島中学校吹奏楽部定期演奏会が開催され、第18回を数える発表会であり、部員40人が2部構成で11曲を披露しました。会場には多くの保護者と吹奏楽部の卒業生が来場し、全国大会出場を目指して練習している部員の奏でる素晴らしい音色を楽しんでいました。

9日の午前には、第68次中巨摩春季教育研究会が南アルプス市の楡形総合体育館で行われました。会が始まる前に今年度新採用となった先生方が前に並び自己紹介をしたのですが、新任の先生の数の多さに驚きました。今年度の中巨摩地区の新採用の教職員の数は59人で、そのうち甲斐市は21人でした。ここ数年県全体で200人を超す採用が続くようです。教員の平均年齢は若返りますが、先輩の教師が若い教師を指導して教師力を高める努力も大いに必要だと思いました。

10日から11日にかけて、平成30年度関東地区都市教育長協議会総会が神奈川県横浜市で行われました。総会に続いて、文部科学省の行政説明、その後、400mの日本記録保持者の東海大学高野進教授の記念講演が行われました。2日目の分科会では第1分科会（教育行財政）に参加し、新潟県南魚沼市の事例発表がありました。

10日の夜、青少年育成推進委員委嘱式が行われ、出張していた私

の代わりに教育部長より委嘱状が交付されました。任期は本年4月から平成32年3月までの2年間であり、113人のうち84人が新任で、29人が再任でありました。

14日の午後には、B&G財団修繕助成決定書授与式が行われました。敷島にありますB&Gプールが老朽化していることから、屋根とプールの修繕工事費約3,000万円のうち1,800万円ほどの補助金を頂けることになりました。

15日の午前には、新たな市議会議員22名による初の臨時議会が開催され、投票の結果、議長に長谷部集議員、副議長に小沢重則議員、また、各常任委員会の構成も決まりました。市長提出議案として承認議案2件、人事案件1件が可決され、臨時会は1日で終了しました。

17日から18日まで、第70回全国都市教育長協議会の定期総会・研究大会が岩手県一関市で開催されました。1日目は午前中総会で、事業報告や予算審議の後、文部科学省の講話と行政説明などがありました。午後から分科会となり、学校教育の分科会に参加しました。事例発表は秋田県大館市と岩手県陸前高田市の教育長の発表でした。特に陸前高田市の教育長の3.11の震災後の教育委員会と学校現場との連携や子どもを取り巻く教育環境の苦労話には感動しました。

2日目は、分野別研究発表で各3ブロックから教育行財政、学校教育、生涯学習の発表がありました。それぞれの市が抱える教育的課題に取り組む発表でした。

21日の午後は、甲斐市租税教育推進協議会が行われました。甲斐市の教育長がこの会の会長ということで、会長のあいさつをいたしました。教育関係者と税務関係者が連携して、児童・生徒に対して税の意義や役割、納税の義務などについて理解を深めるといった目的で会議が進められ、本年度の事業計画などが提案されました。また、山梨県や甲府税務署、税理士会、甲府法人会などの取り組みの報告などが行われました。

22日の午後には、教育委員会定例課長会議を行いました。その後、山梨県市町村対抗軟式野球大会で甲斐Aが悲願の初優勝を飾った報告を野球部長、監督、キャプテンを含めた6名が市長に行いました。私も20日の準決勝、決勝の応援に体協の会長、副会長、スポーツ振興課長などと一緒に向かいました。決勝戦は笛吹Aと行い、最終回に追

い上げられましたが4対3で逃げ切り、参加38チームの頂点に立ちました。

同日の夜には、甲斐国際交流協会の総会が開催され、29年度の決算や30年度の事業計画、予算案などが承認されました。

今年度は、姉妹都市であるキオカック市から友好交流団を7月26日から8月7日まで受け入れ、オーストラリアのタラマラハイスクールへは8月9日から8月20日まで交流団を派遣することとなっております。タラマラハイスクールの派遣の団長には竜王中学校の小宮山校長先生が務める予定です。そのほか、甲斐市内に住む外国人居住者に国際理解の促進や、多文化が共生できる地域社会に寄与するような各種事業が予定されています。

なお、余談ですが甲斐国際交流協会の川口会長は保護司も務めており、またタイ語、フィリピン語、中国語などが堪能のため、外国から甲斐市内の中学校に転入して生徒・保護者の通訳もお願いしているところでもあります。

23日の午前には、行政連絡調整委員の委嘱式が行われました。

市では、自治会長方を行政連絡調整委員として委嘱し、市と地域のパイプ役としてご活躍をいただいておりますが、新たに自治会長になられた行政連絡調整委員の方に市長から委嘱状が交付されました。

また、席上、市の3人の特別職と10人の部長幹部職員の紹介があり、その後、甲斐市自治会連合会の総会が開催されました。

同日の夜7時からチャレンジデー第2回実行委員会が開かれました。昨年から参加しているワールドチャレンジデーの今年の対戦都市は、キューバのクエト市に決まりました。

24日の午後には、県教委から青柳教育監と有賀地域学力向上推進幹が来訪され、竜王西小学校の授業観察の感想や教育課題などの意見交換を行いました。

25日には、平成30年度関東甲信越静教委連合会総会と研修会が、静岡県藤枝市で行われ、そちらに参加しました。

総会の後、静岡県沼津市出身で競泳史上、最年少のバルセロナオリンピック金メダリストの岩崎恭子氏の記念講演会がありました。

なお、総会において平成30年度は南アルプス市の津久井教育委員が本連合会の副会長を務め、31年度の総会を山梨県で開催すること

になりました。この総会には1,000人以上が参加するため大変な事業となります。

同日の夜、中巨摩教職員退職者感謝激励集会がありました。研修のため、欠席しました。

27日の午前には、支部対抗ソフトボール・バレーボール大会が、双葉スポーツ公園等で行われ、市長、議長、教育長が来賓として出席しました。

同日9時より敷島体育館で第49回全国ママさんバレーボール大会県予選会があり、優勝チームが山梨県代表として全国大会に出場する大会でもあります。会場地が甲斐市なので開会式で教育長あいさつを行いました。

本日28日、午後に定例教育委員会を開催しております。

30日には、ご承知のとおり今年で9回目のエントリーとなります。チャレンジデーに参戦いたします。伊勢原市とクエト市に勝利することを期待しています。

また、朝8時5分からの市役所前の開会式には教育委員のご出席をお願いいたします。

31日の午後には県下市町村教育委員会教育長会議が開催されます。

同日の午後には、グラウンドゴルフが県外スポーツ大会に出場するため補助金を交付します。

以上、5月の諸報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議 題

第1号 平成30年度甲斐市立小中学校学校評議員の委嘱について

事務局 (資料説明)

教育長 年齢制限はありませんが、84歳の人なども参加されていますがこのあたりは学校に任せているのでしょうか。

事務局 現状は学校に任せています。今後は学校と相談しながら決定することも検討します。

教育長 評議員の数が4名のみの学校が3校あります。できれば5名ほどお願いしたいところですがやはり見つからないということでしょうか。

事務局 その点については6名以内という範囲で決めているので、あえて確認を取っていない状況です。

教育長 できるだけ色々な方に入ってもらって、学校の評価をしてもらえれば良いと思います。

委員 実は玉幡小学校の先生から、異動したばかりで地域のことをよく知らないで誰か良い人はいないかという相談を受けました。識見者として推薦をした人が道一本で学区外となり対象外になってしまうなど大変な思いをしながら探されていました。そう考えると、4名でも十分な数かと思います。

教育長 確かに、異動されてきた校長先生や教頭先生はなかなか地域の人のことは分からないかもしれないですね。

委員 学区内でないといけないのですね。それで見つからないのなら、それは仕方のないことですね。

教育長 その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

第2号 平成30年度双葉西小学校運営協議会委員の委嘱について

事務局 (資料説明)

委員 双葉西小学校の学校評議員もなさっている方がいるようですが、推薦区分は学校評議員の識見者と運営協議会委員の主任児童委員のどちらが正しいのでしょうか。

事務局 どちらも正しいです。どちらの推薦区分で推薦するかの違いなのでどちらも間違ではありません。しかし、できれば揃えていた方が良いかもしれませんね。

委員 そうですね。できれば評議員の方にも主任児童委員と入れておいた方がよいのではないのでしょうか。

教育長 では次回からは推薦区分に関しては推薦基準を見ながら統一したものでお願いいたします。その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

○その他

(1) 平成 29 年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

事務局 (資料説明)

委 員 番号 6-1 のやまなし環境学習プログラムについて、「やまなし環境学習プログラム」という名前がついているのでその指標を基にカウントしているのだと思います。しかし甲斐市の環境学習の扱いも同じようになるのでしょうか。全体でみると目標値ととても差があるように感じます。

事務局 指標を作った時にやまなし環境学習プログラムを使っていこうということになりまして、創甲斐教育の最初の年に取り入れました。しかし、実際のところやまなし環境プログラムはソーラー発電で作ってみようなど学習の範囲が狭まってしまうもので、それだけを使ってしまうと単発的な授業になってしまいます。3～4年生向けの地域を学ぶという副読本に沿った学習は100%になっています。

委 員 甲斐市の教材もあるのだから地域を利用した環境学習をカウントするほうが現実的には良いのではないのでしょうか。数字の問題に関してはイベントが中心になってしまうなど仕方ない面もありますよね。回数至上主義ではないと思いますが、実際は甲斐市の副読本に沿っているのだから、現実に即してカウントをしていくべきではないのでしょうか。

教育長 毎回定例教育委員会の前に課長会議というものを行っておりまして、その場で私の方でも環境副読本との数字の整合性について質問をしたのですが、市で作られた副読本を100%使っているとのことでした。最初に創甲斐教育推進大綱を作った時には副読本が無かったので県で作っているものを使用した指標を設定したというところであります。

次期の推進大綱の時にはこれらを踏まえた上で現実に即したものを取り入れるようにしていきたいと思えます。

その他ご質問はございますか、よろしいですか。

一 同 異議なし。

(2) 平成 30 年度学校基本調査集計表について

事務局 (資料説明)

教育長 毎年文科省で行われております学校基本調査の集計表となります。児童生徒数は昨年に比べまして 75 人減となっております。何かご意見ご質問はございますか。

委員 各学校において学級数が 23 クラスあるところもあれば 6 クラスの学校もあります。地域差などさまざまな要因があるのですが、甲斐市内では平均的にバランス良くした方がいいと思えます。今後宅地などがどういった風に増えたり変わったりしていくかということにも見通しは立てられると思えます。長い目で見ても子供たちに学習の機会均等や施設設備の均等化など多くの視野があることを考えて、ある程度は均等化を図っていくべきだと思えます。

委員 地域は行政主導での学区の編成には反対すると思えます。たとえば敷島北小学校の地域の人たちが今から増えるという可能性は少ないと思えますが、行政主導で手を付けたりはしない方が良くと思えます。学校があるということが地域の光になっており、敷島北小の地域ではおやじの会を作って盛り上げようとしているのに、そういうのを消してしまうことになりかねません。ただ教育効率のことを考えると 1 年から 6 年まで同じクラスというのも善し悪しで、集団が固まってしまっただけ伸びる子が伸びることができなくなるなどの弊害も出てくるかもしれませんので難しいところでは。

教育長 委員のご意見は本当に悩ましい問題でして、議会からも現状としての将来的な児童生徒数を見る中で、学区の再編や通学時の見直し、生徒数やクラス数のバランスについて積極的に考える必要があるのではないかという質問もありました。PTA など保護者の方から自発的にこういった問題が出れば行政の介入もできるのかもしれませんが、いずれにし

でも検討委員会などを立ち上げてやっていかなければならないのかなと思います。

過去に敷島南小学校と敷島小学校の学区についても問題があった経過もございます、なかなか難しい部分はあると思いますが避けては通れない問題です。南アルプス市では芦安の小・中連携のために検討委員会を立ち上げています。甲斐市でも敷島北小学校はクラス替えもできない状態ですので、双葉東小学校のことも絡めてある程度積極的に対処していかなければならないのかなと思います。

委員 そういったことについて意見交換などをして発展させていき、多少なりとも筋書きを作り任せていけるようにしていかないと、今の親が将来の子どもに対して何を残していくのか、学校の存続はどうなっていくのか、まちづくりはどうしていくのかなどいろいろなものが融合しながらやっていけるような組織は最初は行政が主導しないと作り上げることは難しいと思います。

教育長 ご意見ありがとうございます。その他ご意見ご質問はございますか。よろしいですか。

一 同 異議なし。

(3) 平成 29 年度市内中学校 3 年生進路状況報告【学校教育課】

事務局 (資料説明)

委員 無業者数が 9 名とありますが、不登校との関連はわかりますか。

事務局 9 名の中には高校への進学ができずに家庭でという方もいます。

委員 そういう子が多いのでしょうか。

事務局 必ずしも 9 名全員が不登校というわけではありません。なかなか就職も思うようにいかず、就業も就学もしてないという状況です。

委員 受験はしたのでしょうか。

事務局 受験はできていない子供もいます。

委員 それは貧困によるものなのでしょうか。

事務局 貧困によるものではないようです。

委員 就職となると引きこもっているような子は大変ですね。

委員 定時制や通信制にシフトして改善しているという子も中にはいる

ようですね。

委員 どこかで光を見いだせば良いですね。

事務局 不登校の場合は学校側も就職支援などをするのですが、なかなか難しいようですね。

委員 この時点では9名ですが、高校に入ってからやめてしまうお子さんもいるので中学が最終学歴というお子さんはもっといると思います。そういった子に手を差し伸べられる手立てがあれば良いと思います。

(4) 《ラジオ体操のまち甲斐市》推進計画における平成29年度成果指標実績値の報告について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(5) 甲斐市チャレンジデー2018「ワールドチャレンジデー」について

事務局 (資料説明)

教育長 当日は開会式の際に甲州弁ラジオ体操第二を初お披露目させていただきます。8時5分から開始となりますのでよろしく願いいたします。ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(6) 6月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はございますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

○閉 会

事務局

本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後 3 時 0 0 分